

**平成30年度スポーツ庁委託事業
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
事業報告書**

国立大学法人筑波大学
オリンピック教育プラットフォーム
Centre for Olympic Research and Education



本報告書は、スポーツ庁「スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム」による委託事業として、全国中核拠点（筑波大学、日本体育大学、早稲田大学）および各地域拠点が実施した「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」（平成30年度）の成果を取りまとめたものです。

本書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続が必要となります。

はじめに

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催まで、500日を切りました。いよいよ本番が迫る中で、今後は聖火リレーやボランティア、またホストタウン事業との関連で、地域や学校における様々なイベントが展開されることと思います。本事業を通じた日本全国でのオリンピック・パラリンピック教育の実施・展開は、大会に向けて、またその先の教育レガシーの構築・継承に向けて、ますます重要なものとなるでしょう。

本事業は、2014年度末に文部科学省に設置された「オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議」の提言や、2015年度の「調査研究事業」の結果を踏まえ、2016年度以降、その規模を拡大してきました。今年度は3大学、34地域拠点（全67自治体のうち）が参画し、本学では主に12地域拠点（宮城県、福島県、茨城県、群馬県、愛知県、京都府、京都市、和歌山県、山口県、愛媛県、福岡県、北九州市）とともに事業を進めております。本書は、各教員研修会：セミナー、ワークショップの要項や推進校一覧を掲載し、次年度の事業推進に向けた参考資料とするものです。ぜひ、有効にご活用いただきたいと思います。

結びに、今年度の事業にご協力をいただいた各地域拠点の教育庁の方々、また推進校の先生方をはじめとする全ての関係の皆様に、心より御礼申し上げます。2020年の東京大会がすべての人々にとって有意義なものとなるよう、引き続き、ご協力をいただければ幸いです。

平成31年3月

筑波大学体育系・教授（オリンピック教育プラットフォーム事務局長）
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・参与
真田 久



目次

1. 本事業の概要	
(1) 本事業の目的	1
(2) 推進体制	2
(3) 実施スケジュール	4
2. セミナー（事前研修会）	
(1) 全国セミナー	5
(2) 地域セミナー	7
①宮城県	
②福島県	
③茨城県	
④群馬県	
⑤愛知県	
⑥京都府	
⑦京都市	
⑧山口県	
⑨愛媛県	
⑩福岡県	
⑪北九州市	
3. 各地域拠点の推進校における実践	
(1) 推進校一覧	19
4. ワークショップ（事後研修会）	
(1) 地域ワークショップ	25
①宮城県	
②福島県	
③茨城県	
④群馬県	
⑤愛知県	
⑥京都府	
⑦京都市	
⑧山口県	
⑨愛媛県	
⑩福岡県	
⑪北九州市	
(2) 全国ワークショップ	37

1. 本事業の概要

(1) 本事業の目的

2020年東京大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日閣議決定）において、政府は「大会開催を契機に、オリンピック・パラリンピック教育の推進によるスポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する」方針を示している。本事業は、この方針の実現に向けて、スポーツ庁の委託を受けた全国中核拠点（筑波大学、日本体育大学、早稲田大学）と地域拠点（34地域）が連携し、学校や地域一般におけるオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを推進することを目的とするものである。

今年度、筑波大学は全国中核拠点（Aタイプ）として、主に以下の事業を実施した。

①オリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点会議への参画

スポーツ庁および関係団体（内閣官房オリパラ事務局、東京2020組織委員会、東京都教育庁、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本財団パラリンピックサポートセンター）からなる「オリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点会議」に出席し、2020年東京大会に向けたオリンピック・パラリンピック教育の推進方法について情報共有と検討を行った。

（日時）

第1回：平成30年 4月17日（火）15：00～17：00

第2回：平成30年 7月10日（火）14：00～15：30

第3回：平成30年10月29日（月）14：00～16：00

第4回：平成31年 1月15日（火）14：30～16：00

第5回：平成31年 3月18日（月）13：30～15：00（※全国中核拠点のみ）

（場所）

文部科学省16階3会議室（東京都千代田区霞が関3-2-2）

※第2回のみ文教施設企画部会議室（旧庁舎4階）

次に、同会議で決定された本事業におけるオリンピック・パラリンピック教育における「5つのテーマ」を整理する。

【本事業における「オリンピック・パラリンピック教育」の内容について】

オリンピズムの教育的価値（努力から得られる喜び、フェアプレー、他者への敬意、卓越性の追求、身体・意志・知性の調和）、パラリンピックの価値（勇気、強い意志、インスピレーション、公平）の普及に向けて、以下のテーマを設定する。

- I. スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び**
- II. マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成**
- III. スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築**
- IV. 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成**
- V. スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成**

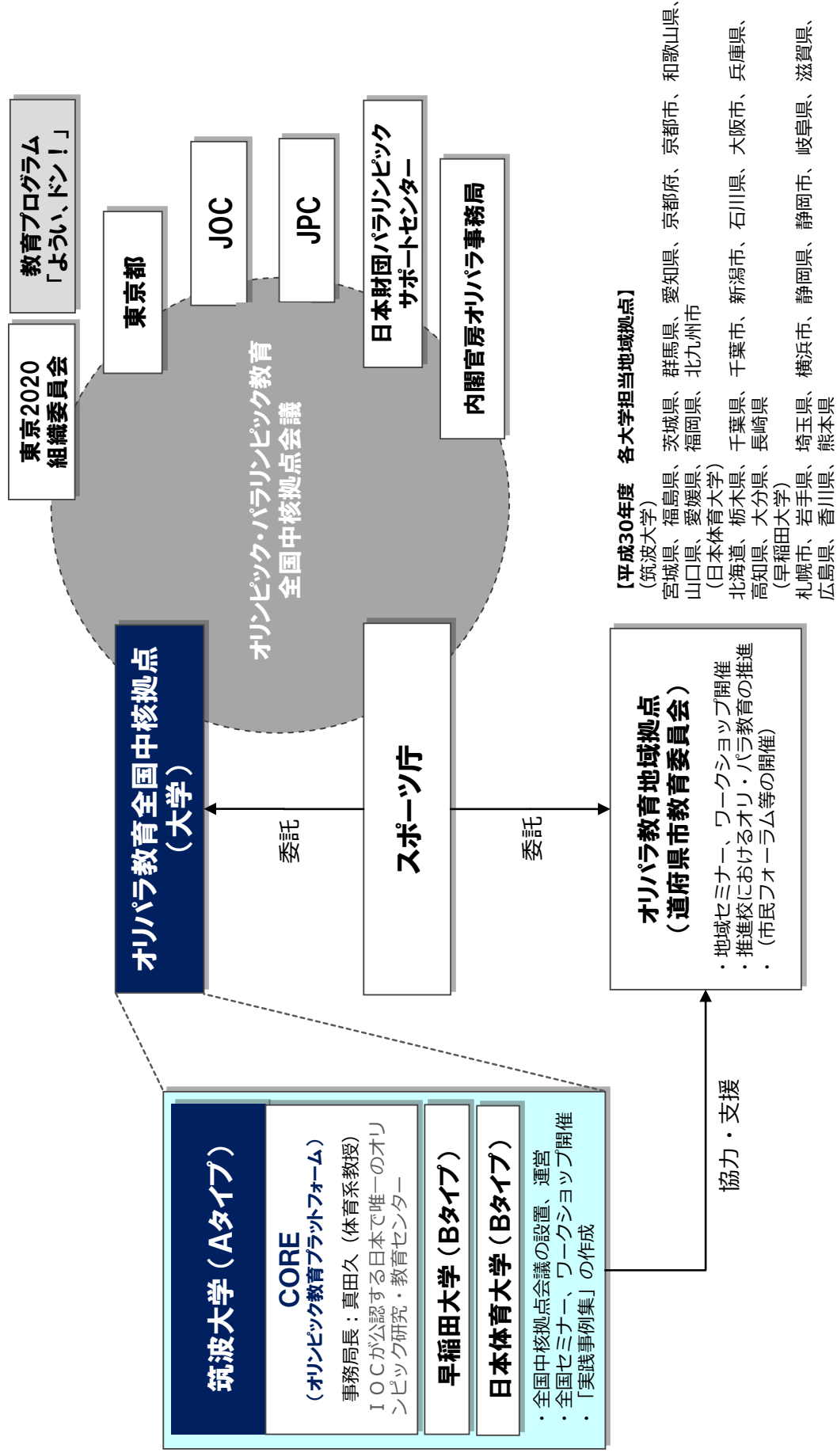
②各地域拠点の推進校におけるオリンピック・パラリンピック教育の支援

全国中核拠点の主要な役割の一つは、地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の総合的支援である。まずは、各地域拠点のコーディネーター（担当指導主事等）を対象とした「全国セミナー」を開催し、その後に各地域で行われる「地域セミナー」に参加、とくに情報提供の面で支援を行った。そして、各推進校における教育実践をサポートし、実践報告会としての「地域ワークショップ」に参加した。年度末には、全ての全国中核拠点と地域拠点が一堂に会して成果と課題を共有する「全国ワークショップ」を開催した。

（２）推進体制

次に、今年度の事業推進体制について、次頁に整理する。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 推進体制図



(3) 実施スケジュール

時期	事業内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学内における推進体制の整備 ・ 各担当地域拠点との連携体制の整備 ・ 第1回全国中核拠点会議への参加 ・ 筑波大学附属学校群におけるオリンピック・パラリンピック教育のモデル授業研究・開発（～2月）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国セミナー（第1回）の開催 ・ 福岡県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 各推進校等におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践支援（～2月）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州市地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 京都府地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 茨城県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 山口県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 群馬県地域セミナーへの参加および実践支援
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 福島県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 愛知県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 第2回全国中核拠点会議への参加 ・ 全国セミナー（第2回）の開催 ・ 平成29年度における「実践事例集」の発行
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市地域セミナーへの参加および実践支援
9月	（上記事項の継続）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛媛県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 第3回全国中核拠点会議への参加
11月	（上記事項の継続）
12月	（上記事項の継続）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回全国中核拠点会議への参加 ・ 福島県地域ワークショップへの参加、実践支援
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 京都府地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 愛知県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 北九州市地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 群馬県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 山口県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 茨城県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 福岡県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 京都市地域ワークショップへの参加、実践支援
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛媛県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 全国ワークショップの開催 ・ 第5回全国中核拠点会議への参加 ・ 事業報告書冊子および事業報告用ウェブページの作成

2. セミナー（事前研修会）

（1）全国セミナー

各地域拠点における事業の推進にあたり、そのとりまとめを行う各コーディネーター（主に担当指導主事等）を対象とする研修会を開催し、事業の趣旨、オリンピック・パラリンピック教育の理論的枠組みと教材の活用方法、実践例に関する説明を行った。



（第1回）

日時：平成30年5月18日（金）14:00～17:00

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎119教室（117教室、118教室）

主催：筑波大学、日本体育大学、早稲田大学

プログラム：

14:00 開会挨拶

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課長 勝又 正秀

14:05 事業概要説明

筑波大学体育系教授 真田 久

14:25 各学校段階におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践例について

筑波大学体育系助教 大林 太郎

日本体育大学特別研究員 秋和 真澄

早稲田大学スポーツ科学学術院准教授 吉永 武史

14:55 関係団体事業および教材等について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

アクション&レガシー担当課長（教育担当） 塩見 絢子

東京都教育庁指導部

オリンピック・パラリンピック教育推進担当課長 河野 浩二

日本財団パラリンピックサポートセンター

推進戦略部／広報部ディレクター 本山 勝寛

内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

参事官補佐 栗田 信行

15:55 (休憩・移動)

16:05 全国中核拠点(担当大学)と地域拠点の打ち合わせ

筑波大学

(福島県、茨城県、群馬県、愛知県、京都府、山口県、福岡県、北九州市)

日本体育大学

(北海道、栃木県、千葉県、千葉市、新潟市、石川県、大阪市、兵庫県、高知県、長崎県)

早稲田大学

(札幌市、岩手県、埼玉県、横浜市、静岡県、滋賀県、広島県、香川県)

17:00 閉会

(第2回)

日時：平成30年7月25日(水) 14:00～17:15

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎119教室(116教室、117教室)

主催：筑波大学、日本体育大学、早稲田大学

プログラム：

14:00 開会挨拶

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課長 勝又 正秀

14:05 事業概要説明

筑波大学体育系教授 真田 久

14:20 各学校段階におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践例について

筑波大学体育系助教 大林 太郎

日本体育大学特別研究員 秋和 真澄

早稲田大学研究員 岡田 悠佑

14:50 関係団体事業および教材等について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

アクション&レガシー担当課長(教育担当) 塩見 絢子

東京都教育庁指導部指導企画課指導主事 小宮山 詠美

日本財団パラリンピックサポートセンター

推進戦略部プロジェクトリーダー 山本 恵理

内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

参事官補佐 栗田 信行

WOWOW 制作局制作部「WHO I AM」チーフプロデューサー 太田 慎也

16:10 (休憩・移動)

16:15 全国中核拠点(担当大学)と地域拠点の打ち合わせ

筑波大学(宮城県、京都市、和歌山県、愛媛県)

日本体育大学(千葉県、神戸市、大分県)

早稲田大学(岩手県、岐阜県、静岡市、広島県、熊本県)

17:15 閉会

(2) 地域セミナー

全国セミナー後、各地域拠点では推進校の選定（指定）が行われ、当該校教員および教育事務所担当者を対象とした研修会が実施された。本学ではコーディネーターの依頼に基づき、主に以下の実践支援を行った。

(本事業の概要説明)

本学の担当教員が登壇し、本事業の背景と経緯、またオリンピック・パラリンピック教育の意義について講演を行った。また、全国中核拠点会議で設定された「オリンピック・パラリンピック教育の推進テーマ」について説明し、対応する具体的な実践例を紹介した。

(各教材の使用方法に関する説明)

スポーツ庁発行の指導参考資料、東京都発行の学習読本、国際オリンピック委員会（IOC）発行のオリンピック価値教育プログラム、日本財団パラリンピックサポートセンター発行のI'mPOSSIBLEの使用方法を紹介した。

(地域および学校の特色を活かした実践アイデアに関する意見交換)

本学の担当教員、研究員等が推進校教員のグループワークに参加し、具体的な実践アイデアに関する意見交換を行った。

次に、各地域拠点における地域セミナーの要項を掲載する。なお、各要項については、地域拠点のコーディネーターより提供されたものをもとに改編を行った。

※ 和歌山県においては、本形式での研修会は実施せず、個別に対応された。

①宮城県

日時：平成30年7月5日（木） 14：00～16：30

場所：宮城県庁行政庁舎 2階第2入札室

プログラム：

14：00 開会挨拶

宮城県教育庁スポーツ健康課長 駒木 康伸

14：10 オリンピック・パラリンピック教育研修

・オリンピック・パラリンピック教育の理論と実践

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

・平成29年度の各県の実践事例紹介及び教材紹介

筑波大学体育系助教 大林 太郎

15：05 （休憩）

15：15 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（平成30年度）
の宮城県の取組概要説明

宮城県教育庁スポーツ健康課学校安全体育班主任 八島 信

15：30 事務手続き等に関する説明

16：00 質疑応答

16：20 閉会行事



②福島県

日時：平成30年7月5日（木） 13：30～16：30

場所：福島テルサ 4階つきのわ

プログラム：

13：30 開会挨拶

福島県教育庁健康教育課長 佐藤 浩哉

13：40 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系教授 真田 久

14：00 推進教育実践事例の紹介

筑波大学体育系研究員 鈴木 王香

14：20 オリンピック・パラリンピック教育に関する教材等の紹介

日本財団パラリンピックサポートセンター

推進戦略部プロジェクトリーダー 徳留 圭吾

14：40 福島県事務局からの説明

福島県教育庁健康教育課指導主事 高橋 英人

15：05 諸連絡

15：20 （休憩・移動）

15：35 グループごとの打ち合わせ・情報交換

（A）御山小、平野小、北沢又小、安積第三小、安子島小、金透小、小原田小、赤木小、
一箕小、平第三小、県教委、筑波大学

（B）吉井田小、土湯小、佐原小、富田東小、白岩小、東芳小、桜小、小名浜第二小、錦小、
県教委、筑波大学

（C）蓬萊中、大鳥中、福島養護学校、一箕中、橘高、あさか開成高、須賀川高、
視覚支援学校、郡山支援学校、たむら支援学校、会津支援学校、
いわき支援学校くぼた校、県教委、筑波大学、パラサポ

16：05 その他

16：15 閉会



③茨城県

日時：平成30年6月20日（水） 10：00～12：00

場所：茨城県市町村会館 2階大会議室

プログラム：

10：00 開会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課長 益子 雄行

10：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

10：30 推進教育実践事例の紹介

筑波大学体育系助教 大林 太郎

10：55 教育教材について

筑波大学体育系助教 大林 太郎

11：15 本事業事務手続き等に関する説明

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当 野田 浩太郎

11：45 質疑応答、その他（諸連絡）

12：00 閉会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当 野田 浩太郎



④群馬県

日時：平成30年6月26日（火） 14：00～16：00

場所：群馬県庁昭和庁舎 35会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

群馬県教育委員会健康体育課長 小林 信二

14：05 出席者紹介

14：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系助教 大林 太郎

14：40 全国事例の紹介

筑波大学体育系非常勤研究員 福田 佳太

14：55 事業実施上の留意点について

群馬県教育委員会健康体育課指導主事 綱島 毅

15：10 質疑応答、情報交換

15：30 その他（諸連絡）

15：50 閉会挨拶

群馬県教育委員会健康体育課補佐 橋 憲市



⑤愛知県

日時：平成30年7月6日（金） 14：00～16：00

場所：愛知県教育会館 第3会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

愛知県教育委員会保健体育スポーツ課長 木村 誠

14：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系助教 大林 太朗

14：25 推進教育実践事例の紹介

筑波大学体育系助教 大林 太朗

15：00 教育教材「I'mPOSSIBLE」について

I'mPOSSIBLE 日本版事務局

（日本財団パラリンピックサポートセンタープロジェクトマネージャー／
国際パラリンピック委員会教育委員会メンバー） マセソン 美季

15：30 本事業事務手続き等に関する説明

愛知県教育委員会保健体育スポーツ課主査 久綱 大如

15：40 質疑応答

15：50 閉会



⑥京都府

日時：平成30年6月11日（月）14：00～16：30

場所：ホテルルビノ京都堀川 2階加茂の間

プログラム：

14：00 開会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課総括指導主事 柏木 佳久

14：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系助教 大林 太郎

14：15 教育教材「I'mPOSSIBLE」（中高版・小学校追加版）の効果的活用について

日本財団パラリンピックサポートセンター

推進戦略部プロジェクトリーダー 山本 恵理

14：50 （休憩）

15：00 実践事例紹介及び事業実施上の留意点等について

京都府教育庁指導部保健体育課指導主事 塩川 拓司

15：50 情報交流

各校の取組概要、昨年度の課題を踏まえた工夫等について

【古川小、木津川台小、井出小】【相楽小、上狛小、多賀小】

【園部中、栗田中、白糸中】【大山崎中、山城中、蒲生野中】

【泉ヶ丘中、和知中、綾部中、宮津中】【久御山高、南丹高、網野高】

【北桑田高、田辺高、須知高、久美浜高】【鴨沂高、鳥羽高、乙訓高、西乙訓高】

【東稜高、洛水高、京都八幡高、綾部高】

【洛北高、京都すばる高、城陽高、西城陽高】

【北嵯峨高、菟道高、西舞鶴高、加悦谷高】

【盲学校、宇治支援学校、南山城支援学校、舞鶴支援学校】

【聾学校、与謝の海支援学校、城陽支援学校、丹波支援学校】

【向日が丘支援学校、八幡支援学校、中丹支援学校】

16：10 質疑応答、まとめ

16：20 閉会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課総括指導主事 柏木 佳久



⑦京都市

日時：平成30年8月22日（水） 16:00～17:00

場所：京都市総合教育センター 第5研修室

プログラム：

16:00 開会挨拶

京都市教育委員会体育健康教育室体育課長 近藤 哲夫

16:05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明及び
全国事例（I'mPOSSIBLE）の紹介

筑波大学体育系助教 大林 太朗

筑波大学体育系非常勤研究員 福田 佳太

16:40 事業手続き等について

京都市教育委員会体育健康教育室 小根田 篤史

17:00 終了



⑧山口県

日時：平成30年6月21日（木） 13：30～16：30

場所：山口県庁 4階共用第3会議室

プログラム：

13：30 開会行事

山口県教育庁学校安全・体育課長 原井 進

13：35 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

14：00 他の地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

日本財団パラリンピックサポートセンター事業教材「I'mPOSSIBLE」紹介

筑波大学体育系助教 大林 太郎

14：40 （休憩）

14：45 本事業に係る事務手続き等に関する説明

山口県教育庁学校安全・体育課学校体育班指導主事 大庭 紀之

15：00 質疑応答、諸連絡

15：10 閉会行事

山口県教育庁学校安全・体育課学校体育班指導主事 大庭 紀之

15：15 各校との打ち合わせ（推進校と筑波大学、推進校と県教委）

15：30 個別相談

16：00 終了



⑨愛媛県

日時：平成30年10月24日（水）14：30～16：00

場所：愛媛県美術館 研修室

プログラム：

14：30 開会挨拶

愛媛県スポーツ・文化部スポーツ局長 齊藤 直樹

14：35 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要及び事例紹介

筑波大学体育系助教 大林 太朗

15：05 質疑応答

15：10 教育教材「I'mPOSSIBLE」の効果的活用について

日本財団パラリンピックサポートセンター

推進戦略部プロジェクトリーダー 山本 恵理

15：30 質疑応答

15：35 今年度における事業の進め方

15：50 質疑応答

16：00 閉会



⑩福岡県

日時：平成30年5月28日（月） 15：00～16：40

場所：カンファレンスASC（アスク）3A会議室

プログラム：

15：00 開会行事

15：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学体育系助教 大林 太郎

15：30 福岡県におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事 村山 直樹

15：55 （休憩）

16：10 本事業に係る事務手続き等に関する説明

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事 村山 直樹

16：25 質疑応答

16：35 諸連絡

16：40 閉会行事



⑪北九州市

日時：平成30年6月6日（水） 14：30～17：00

場所：北九州市立教育センター 304室

プログラム：

14：30 開会行事

北九州市教育委員会学力・体力向上推進室長 河村 信孝

14：35 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

15：00 他の地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

日本財団パラリンピックサポートセンター事業教材（I'mPOSSIBLE）紹介

筑波大学体育系助教 大林 太朗

15：45 （休憩）

15：55 「パラ・パワーリフティング体験会」の実施について

北九州市市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室次長 藤本 将志

16：05 本事業に係る事務手続き等に関する説明

北九州市教育委員会学力・体力向上推進室指導主事 木村 敏久

16：10 質疑応答、諸連絡

16：15 グループ毎の打合わせ（推進校と筑波大学スタッフ）

（A）足立小・西小倉小・到津小・広徳小・徳力小・長尾小・田原小

（B）松ヶ江北小・松ヶ江南小・修多羅小・古前小・二島小・戸畑中央小

（C）鷹の巣幼・木屋瀬小・星ヶ丘小・楠橋小・塔野小・八幡小・花尾小

（D）曽根中・吉田中・田原中・花尾中・槻田中・八児中

（E）足立中・南小倉中・菊陵中・石峯中・高生中

16：55 閉会行事

17：00 閉会



3. 各地域拠点の推進校における実践

(1) 推進校一覧

今年度は12地域において、計264校の推進校が5つのテーマ(→P.2参照)に沿ったオリンピック・パラリンピック教育の実践が展開された。各校の実践の詳細は、筑波大学オリンピック教育プラットフォーム(CORE)の事業報告ウェブサイトを参照されたい(<http://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/consignment>)。

宮城県 (計21校)

小学校(9)	石巻市立貞山小学校、大郷町立大郷小学校、気仙沼市立松岩小学校、色麻町立色麻小学校、仙台市立秋保小学校、大和町立吉岡小学校、多賀城市立天真小学校、登米市立北方小学校、村田町立村田小学校、
中学校(9)	石巻市立蛇田中学校、大郷町立大郷中学校、角田市立北角田中学校、気仙沼市立面瀬中学校、色麻町立色麻中学校、仙台市立生出中学校、大和町立宮床中学校、多賀城市立第二中学校、登米市立東和中中学校
高等学校(3)	宮城県泉高等学校、宮城県南郷高等学校、宮城県利府高等学校

福島県 (計32校)

小学校(20)	会津若松市立一箕小学校、いわき市立桶売小学校、いわき市立小名浜第二小学校、いわき市立平第三小学校、いわき市立錦小学校、郡山市立赤木小学校、郡山市立安子島小学校、郡山市立安積第三小学校、郡山市立金透小学校、郡山市立小原田小学校、郡山市立桜小学校、郡山市立白岩小学校、郡山市立東芳小学校、郡山市立富田東小学校、福島市立御山小学校、福島市立北沢又小学校、福島市立佐原小学校、福島市立土湯小学校、福島市立平野小学校、福島市立吉井田小学校
---------	--

中学校（３）	会津若松市立一箕中学校、福島市立大島中学校、福島市立蓬萊中学校
高等学校（３）	福島県立あさか開成高等学校、福島県立須賀川高等学校、 福島県立橘高等学校
特別支援学校（６）	福島県立会津支援学校、福島県立いわき支援学校くぼた校、 福島県立郡山支援学校、福島県立視覚支援学校、福島県立たむら支援学校、 福島市立福島養護学校

茨城県（計３９校）

小学校（２７）	阿見町立阿見第一小学校、石岡市立瓦会小学校、石岡市立杉並小学校、 石岡市立林小学校、笠間市立友部小学校、鹿嶋市立中野東小学校、 北茨城市立石岡小学校、北茨城市立精華小学校、古河市立大和田小学校、 古河市立上大野小学校、古河市立下大野小学校、境町立境小学校、 境町立長田小学校、下妻市立下妻小学校、下妻市立大宝小学校、 下妻市立高道祖小学校、つくば市立竹園東小学校、 つくば市立二の宮小学校、土浦市立土浦第二小学校、取手市立戸頭小学校、 取手市立六郷小学校、那珂市立菅谷西小学校、 ひたちなか市立三反田小学校、鉾田市立旭東小学校、 水戸市立河和田小学校、八千代町立下結城小学校、 龍ヶ崎市立川原代小学校
中学校（６）	古河市立三和北中学校、古河市立総和南中学校、常総市立水海道中学校、 大子町立大子中学校、つくば市立荃崎中学校、坂東市立東中学校
高等学校（４）	茨城県立磯原郷英高等学校、茨城県立下妻第二高等学校、 茨城県立土浦湖北高等学校、茨城県立常陸大宮高等学校
特別支援学校（２）	茨城県立水戸飯富特別支援学校、茨城県立水戸聾学校

群馬県（計４校）

小学校（１）	長野原町立北軽井沢小学校
中学校（１）	桐生市立広沢中学校
高等学校（１）	群馬県立西邑楽高等学校
特別支援学校（１）	群馬県立盲学校

愛知県（計１８校）

小学校（６）	あま市立甚目寺西小学校、稲沢市立千代田小学校、清須市立清洲東小学校、東浦町立片葩小学校、豊田市立市木小学校、豊橋市立豊小学校
中学校（６）	大府市立大府北中学校、清須市立新川中学校、江南市立古知野中学校、新城市立東郷中学校、豊田市立逢妻中学校、弥富市立弥富中学校
高等学校（５）	愛知県立海翔高等学校、愛知県立松蔭高等学校、 愛知県立知多翔洋高等学校、愛知県立豊田東高等学校、 愛知県立宝陵高等学校
特別支援学校（１）	愛知県立港特別支援学校

京都府（計５２校）

小学校（７）	井手町立井手小学校、井手町立多賀小学校、木津川市立上狛小学校、木津川市立木津川台小学校、木津川市立相楽小学校、京田辺市立薪小学校、城陽市立古川小学校
中学校（１１）	綾部市立綾部中学校、井手町立泉ヶ丘中学校、大山崎町立大山崎中学校、木津川市立山城中学校、京丹波町立蒲生野中学校、京丹波町立瑞穂中学校、京丹波町立和知中学校、南丹市立園部中学校、舞鶴市立白糸中学校、宮津市立栗田中学校、宮津市立宮津中学校

高等学校（２３）	<p>京都府立網野高等学校、京都府立綾部高等学校、京都府立鴨沂高等学校、 京都府立乙訓高等学校、京都府立加悦谷高等学校、 京都府立北桑田高等学校、京都府立北嵯峨高等学校、 京都府立京都すばる高等学校、京都府立京都八幡高等学校、 京都府立久美浜高等学校、京都府立久御山高等学校、 京都府立須知高等学校、京都府立城陽高等学校、 京都府立田辺高等学校、京都府立東稜高等学校、京都府立菟道高等学校、 京都府立鳥羽高等学校、京都府立南丹高等学校、京都府立西乙訓高等学校、 京都府立西城陽高等学校、京都府立西舞鶴高等学校、 京都府立洛水高等学校、京都府立洛北高等学校</p>
特別支援学校（１１）	<p>京都府立宇治支援学校、京都府立城陽支援学校、京都府立丹波支援学校、 京都府立中丹支援学校、京都府立舞鶴支援学校、京都府立南山城支援学校、 京都府立向日が丘支援学校、京都府立盲学校、京都府立八幡支援学校、 京都府立与謝の海支援学校、京都府立聾学校</p>

京都市（計２８校）

小学校（１８）	<p>京都市立葵小学校、京都市立石田小学校、京都市立大宮小学校、 京都市立大藪小学校、京都市立音羽小学校、京都市立九条塔南小学校、 京都市立久世西小学校、京都市立御所南小学校、京都市立下京雅小学校、 京都市立修学院小学校、京都市立祥栄小学校、京都市立祥豊小学校、 京都市立朱雀第六小学校、京都市立高雄小学校、京都市立西京極西小学校、 京都市立松尾小学校、京都市立桃山東小学校、京都市立山ノ内小学校</p>
中学校（５）	<p>京都市立大宅中学校、京都市立桂中学校、京都市立嘉楽中学校、 京都市立下京中学校、京都市立西ノ京中学校</p>
小中連携校（１）	<p>京都市立東山泉小中学校</p>
高等学校（４）	<p>京都市立京都工学院高等学校、京都市立西京高等学校（定時制）、 京都市立塔南高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校</p>

和歌山県（計２校）

小学校（１）	海南市立加茂川小学校
特別支援学校（１）	和歌山県立和歌山ろう学校

山口県（計７校）

小学校（６）	岩国市立周北小学校、宇部市立小野小学校、宇部市立神原小学校、 周南市立福川南小学校、柳井市立柳東小学校、山口市立大内小学校
小中一貫教育校 （１）	萩市立大島小中学校

愛媛県（計１０校）

幼稚園（１）	砥部町立麻生幼稚園
小学校（３）	宇和島市立和霊小学校、西条市立橘小学校、松山市立石井北小学校
中学校（３）	今治市立北郷中学校、上島町立岩城中学校、松山市立椿中学校
高等学校（２）	愛媛県立大洲高等学校、愛媛県立新居浜東高等学校
特別支援学校（１）	今治特別支援学校

福岡県（計２０校）

小学校（６）	朝倉市立秋月小学校、飯塚市立穎田小学校、大野城市立御笠の森小学校、 大牟田市立天領小学校、築上町立築城小学校、中間市立中間西小学校
中学校（７）	大川市立大川中学校、春日市立春日東中学校、桂川町立桂川中学校、 鞍手町立鞍手中学校、築上町立椎田中学校、筑前町立夜須中学校、 福岡県立宗像中学校
高等学校（６）	福岡県立北九州高等学校、福岡県立玄洋高等学校、福岡県立早良高等学校、 福岡県立直方高等学校、福岡県立三井高等学校、福岡県立三潁高等学校

特別支援学校（１）	福岡県立久留米聴覚特別支援学校
-----------	-----------------

北九州市（計３１校）

幼稚園（１）	北九州市立鷹の巣幼稚園
小学校（１９）	北九州市立足立小学校、北九州市立楠橋小学校、北九州市立広徳小学校、 北九州市立木屋瀬小学校、北九州市立修多羅小学校、 北九州市立田原小学校、北九州市立到津小学校、北九州市立塔野小学校、 北九州市立徳力小学校、北九州市立戸畑中央小学校、 北九州市立長尾小学校、北九州市立西小倉小学校、北九州市立花尾小学校、 北九州市立二島小学校、北九州市立古前小学校、北九州市立星ヶ丘小学校、 北九州市立松ヶ江北小学校、北九州市立松ヶ江南小学校、 北九州市立八幡小学校
中学校（１１）	北九州市立足立中学校、北九州市立石峯中学校、北九州市立菊陵中学校、 北九州市立曾根中学校、北九州市立高生中学校、北九州市立田原中学校、 北九州市立槻田中学校、北九州市立花尾中学校、北九州市立南小倉中学校、 北九州市立八咫中学校、北九州市立吉田中学校

4. ワークショップ（事後研修会）

（1）地域ワークショップ

各推進校でのオリンピック・パラリンピック教育の実践後、教員間での成果と課題を共有するための報告会が行われた。本学ではコーディネーターの依頼に基づき、主に以下の支援を行った。

（全国中核拠点会議報告、他の地域拠点における特徴的な実践例紹介）

本学の担当教員が登壇し、全国中核拠点会議で共有されたオリンピック・パラリンピック教育の情報や、他の地域拠点における実践例を紹介した。

（推進校間のグループワークへの参加）

学校種・段階別等の小グループに本学の担当教員が参画し、各推進校等における実践の成果と課題を共有するとともに、次年度の事業実施を見据え、各校における今後の具体的な実践アイデアに関する意見交換を行った。また、全体を通した講評を行った。

（シンポジウムのコーディネート、外部講師の調整）

一部の地域ワークショップでは、地元にゆかりのあるアスリートや大学講師をパネリストとするシンポジウムが開催された。本学では、その講師登壇に係る調整や当日のコーディネーターを務めた。

次に、各地域拠点における地域ワークショップの要項を掲載する。なお、各要項については、地域拠点のコーディネーターより提供されたものをもとに改編を行った。

※ 和歌山県においては、本形式での研修会は実施せず、個別に対応された。

①宮城県

日時：平成31年2月6日（水） 13：30～16：00

場所：宮城県行政庁舎 1001会議室

プログラム：

13：30 開会挨拶

宮城県教育庁スポーツ健康課長 駒木 康伸

13：40 講演

ロンドンオリンピックフェンシング男子フルーレ団体銀メダリスト

千田 健太

14：40 （休憩）

14：50 グループワーク

（小1）村田小、大郷小、色麻小、北方小、秋保小

（小2）天真小、吉岡小、貞山小、松岩小

（中高1）北角田中、宮床中、東和中、泉高

（中高2）多賀城市立第二中、色麻中、面瀬中、南郷高

（中高3）大郷中、蛇田中、生出中、利府高

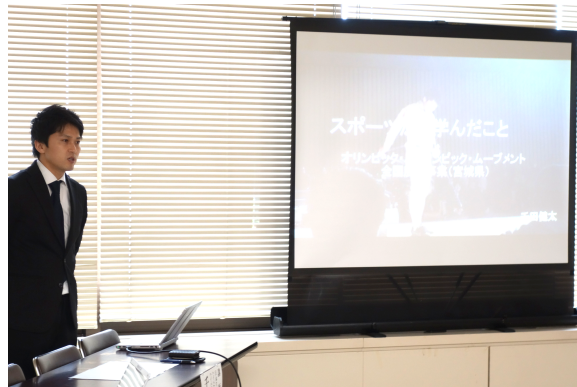
15：30 グループワーク発表

15：45 講評

筑波大学体育系助教 大林 太郎

15：55 諸連絡

宮城県教育庁スポーツ健康課学校安全体育班主幹 八島 信



②福島県

日時：平成31年1月24日（木）10：30～16：00

場所：あづま総合体育館 会議室・研修室・アリーナ

プログラム：

10：30 主催者挨拶

福島県教育庁健康教育課長 佐藤 浩哉

10：40 グループワーク、発表

- ・土湯小、小原田小、須賀川高、郡山支援学校、県中事務所
- ・吉井田小、金透小、平第三小、視覚支援学校、いわき事務所
- ・御山小、安子島小、一箕中、たむら支援学校、会津事務所
- ・北沢又小、安積三小、一箕小、福島養護学校、県北事務所
- ・東芳小、桜小、大鳥中、会津支援学校、いわき市、オリパラ支援室
- ・白岩小、小名浜二小、蓬萊中、橘高、県南事務所、健康教育課
- ・平野小、富田東小、いわき支援学校くぼた校、郡山市、南会津事務所、健康教育課
- ・佐原小、赤木小、錦小、あさか開成高、相双事務所、健康教育課

11：45 まとめ及び実践事例の紹介

筑波大学体育系助教 大林 太郎

12：00 閉会

13：30 主催者挨拶

福島県教育庁健康教育課長 佐藤 浩哉

13：40 実践報告

福島市立土湯小学校、郡山市立白岩小学校、会津若松市立一箕小学校、
いわき市立平第三小学校、福島県立あさか開成高等学校、
福島県立いわき支援学校くぼた校

14：45 講評

筑波大学体育系教授 真田 久

15：00 （休憩・移動）

15：10 体験会「パラリンピック競技ボッチャの体験」

講師：大笹生支援学校 国分 章夫

16：00 閉会



③茨城県

日時：平成31年2月22日（金） 14：00～17：00

場所：ホテルレイクビュー水戸

プログラム：

14：00 開会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課副参事兼課長補佐（総括） 高橋 清

14：05 ワークショップの進め方について説明

14：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系研究員 鈴木 王香

14：30 グループディスカッション

- ・ 各推進校における実践内容の報告
- ・ 実践を通しての成果
- ・ 今後に向けての課題

（1）河和田小、水戸市総合教育研究所、中野東小、川原代小、下大野小

（2）笠間市教育委員会、石岡小、戸頭小、上大野小、下結城小

（3）三反田小、土浦第二小、六郷小、大和田小、境小

（4）那珂市教育委員会、杉並小、竹園東小、下妻小、長田小

（5）旭東小、鉾田市教育委員会、瓦会小、二の宮小、大宝小

（6）精華小、林小、阿見第一小、高道祖小

（7）太子中、荃崎中、総和南中、水海道中

（8）三和北中、東中、水戸聾学校、水戸飯富特別支援学校

（9）磯原郷英高、常陸大宮高、土浦湖北高、下妻第二高

15：50 各グループからの発表

16：30 講評

筑波大学体育系助教 大林 太郎

17：00 閉会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当係長 金子 英樹



④群馬県

日時：平成31年2月19日（火） 14：00～16：00

場所：群馬県庁昭和庁舎 35会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

群馬県教育委員会健康体育課長 小林 信二

14：05 出席者紹介

14：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の報告及び
実践事例紹介

筑波大学体育系助教 大林 太郎

14：30 教育推進校の実践報告

長野原町立北軽井沢小学校、桐生市立広沢中学校、
群馬県立西邑楽高等学校、群馬県立盲学校

15：10 協議、情報交換

- ・オリンピック・パラリンピック教育を進める上での課題について
- ・来年度の事業展開について

15：40 その他（情報提供等）

15：45 講評

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

15：55 閉会挨拶



⑤愛知県

日時：平成31年2月8日（金）14：00～16：30

場所：愛知県教育会館 第3会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

愛知県教育委員会保健体育スポーツ課長 木村 誠

14：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系助教 大林 太郎

14：25 推進教育実践事例の紹介

東浦町立片葩小学校、江南市立古知野中学校、愛知県立松蔭高等学校、
愛知県立港特別支援学校

15：25 （休憩）

15：30 グループワーク

16：00 グループワークの内容について情報交換

16：15 講評

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

16：25 諸連絡



⑥京都府

日時：平成31年2月7日（木） 13：30～16：30

場所：ホテルルビノ京都堀川 平安の間

プログラム：

13：30 開会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課長 村上 昌司

13：35 基調講演「2020年度以降に継続可能な取組開発の視点について」

筑波大学体育系助教 大林 太郎

13：50 グループワーク説明

13：55 （休憩）

14：05 グループワーク

- ・ 2020年度以降の本事業の取組成果を活かした『継続可能な取組』の開発に向けて ～各テーマを活用した効果的な授業や学習方法について～

15：20 （休憩）

15：30 グループワークの内容について情報交流（各グループ発表）

16：10 講評

筑波大学体育系助教 大林 太郎

16：18 事務連絡「ようい、ドン！スクール」報告書について

京都府教育庁指導部保健体育課指導主事 塩川 拓司

16：20 閉会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課学校体育担当総括指導主事兼副課長
柏木 佳久



⑦京都市

日時：平成31年2月27日（水） 15：30～17：00

場所：京都市総合教育センター 第1研修室

プログラム：

15：30 開会挨拶

京都市教育委員会体育健康教育室体育課長 近藤 哲夫

筑波大学体育系教授 真田 久

15：35 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系助教 大林 太郎

16：05 各推進校の実践内容についての情報交流

(A) 大宮小、御所南小、下京雅小、九条塔南小、祥豊小

(B) 朱雀第六小、祥栄小、大藪小、久世西小、葵小

(C) 修学院小、音羽小、西京極西小、松尾小、桃山東小

(D) 嘉楽中、西ノ京中、下京中、日吉ヶ丘高、塔南高

(E) 大宅中、桂中、東山泉小中、西京高（定時制）、京都工学院高

(F) 高雄小、山ノ内小、石田小、東山泉小中

16：30 発表

16：45 講評

筑波大学体育系教授 真田 久

16：55 事務連絡



⑧山口県

日時：平成31年2月20日（水） 13：30～15：30

場所：山口県庁 1階視聴覚室

プログラム：

13：30 開会行事

山口県教育庁学校安全・体育課長 原井 進

13：35 国の動向及び他の地域拠点における実践事例紹介

筑波大学体育系助教 大林 太郎

13：55 グループワーク

- ・ 各推進校の実践内容報告・成果・課題・来年度に向けての構想

- ・ 地域セミナー・ワークショップの在り方

※どのような情報が必要か、教育委員会や大学に求めること等

- ・ 校内でのオリパラ教育推進体制（組織づくり）

※担当教員1人で進めているのか、学年またはチームで進めているのか等

（1）周北小、柳東小、大内小、小野小

（2）福川南小、神原小、大島小中

15：15 講評

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

15：25 質疑応答、諸連絡

15：30 閉会行事



⑨愛媛県

日時：平成31年3月3日（日） 13：30～16：00

場所：愛媛県美術館 講堂

プログラム：

13：30 開会

13：35 主催者挨拶

愛媛県スポーツ・文化スポーツ局長 齊藤 直樹

14：40 オリンピック・パラリンピック教育事例報告

西条市立橘小学校 教諭 高橋 俊光

宇和島市立和霊小学校 教諭 野本 征

今治市立北郷中学校 教諭 富田 湧

14：20 （休憩）

14：30 パネルディスカッション

テーマ：「愛媛県でのオリンピック・パラリンピック教育の推進について」

コーディネーター：

筑波大学体育系准教授 宮崎 明世

パネリスト：

いわき明星大学副学長

田口 信教

明治大学付属明治高等学校・中学サッカー部監督

神川 明彦

三井住友海上火災保険

土佐 礼子

16：00 閉会



⑩福岡県

日時：平成31年2月25日（月）14：00～16：30

場所：福岡リーセントホテル 2階芙蓉の間

プログラム：

14：00 開会行事

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課総括指導主事 笠井 康行

14：10 福岡県におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事 村山 直樹

14：40 全国におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

筑波大学体育系研究員 鈴木 王香

15：10 （休憩）

15：25 各学校における実践内容のグループ交流、グループ交流内容の報告

（A）御笠の森小、秋月小、天領小

（B）中間西小、潁田小、築城小

（C）春日東中、鞍手中、大川中

（D）夜須中、桂川中、宗像中

（E）北九州高、玄洋高、久留米聴覚特別支援学校

（F）三井高、三潨高、直方高、早良高

16：25 諸連絡

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事 村山 直樹

16：30 閉会行事



⑪北九州市

日時：平成31年2月18日（月）15：00～17：00

場所：北九州市立教育センター 304室

プログラム：

15：00 開会行事

北九州市教育委員会学力・体力向上推進室次長 澤村 宏志

15：10 国の動向及び他の地域拠点における実践事例紹介

筑波大学体育系助教 大林 太郎

15：25 グループワーク（実践内容報告及び新規実践の構想）【管理職、推進担当者】

(A) 足立小、到津小、楠橋小、木屋瀬小、修多羅小、戸畑中央小、二島小、八幡小

(B) 鷹の巣幼、修多羅小、田原小、塔野小、木屋瀬小、徳力小、広徳小、松ヶ江南小

(C) 徳力小、戸畑中央小、長尾小、西小倉小、楠橋小、塔野小、花尾小、松ヶ江北小

(D) 花尾小、広徳小、二島小、古前小、到津小、田原小、西小倉小、星ヶ丘小

(E) 星ヶ丘小、松ヶ江北小、松ヶ江南小、八幡小、鷹の巣幼、足立小、長尾小、古前小

(F) 高中生、田原中、槻田中、花尾中、石峯中、足立中、吉田中、南小倉中

(G) 足立中、石峯中、菊陵中、曾根中、八児中、田原中、槻田中

(H) 南小倉中、八児中、吉田中、高中生、菊陵中、曾根中、花尾中

16：00 （休憩）

16：10 発表（グループワークの内容）

16：35 講評

筑波大学体育系教授 真田 久

16：45 質疑応答、諸連絡

17：00 閉会行事



(2) 全国ワークショップ

各地域拠点のコーディネーター等を対象とする「全国ワークショップ」を開催し、各地域拠点における事業成果と課題の共有、次年度以降の効果的なオリンピック・パラリンピック教育の推進に向けた議論を行った。なお、プログラム内容は上記の全国中核拠点会議での議論を踏まえて作成した。

日時：平成31年3月5日（火） 14:00～17:15

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎／放送大学東京文京学習センター B1階 会議室

主催：筑波大学、日本体育大学、早稲田大学

プログラム：

14:00 開会挨拶

スポーツ庁参議官 藤江 陽子

14:05 各地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践事例

筑波大学体育系助教 大林 太郎

日本体育大学特別研究員 乳井 勇二

早稲田大学研究員 岡田 悠佑

14:35 パラリンピック教育普及啓発事業報告

日本財団パラリンピックサポートセンター

広報部兼推進戦略部ディレクター 田代 純一

推進戦略部プロジェクトリーダー 徳留 圭吾

14:50 関係団体による情報提供

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

アクション&レガシー担当課長（教育担当） 塩見 絢子

東京都教育庁指導部指導企画課指導主事 小宮山 詠美

15:20 （休憩・移動）

15:30 報告会およびグループ討議 ※（ ）内はオブザーバー

【討議の論点】

- ・今年度の推進校におけるオリンピック・パラリンピック教育
- ・地域セミナー（事前研修会）、地域ワークショップ（事後報告会）
- ・次年度に向けた課題、展望

(A) 北海道、札幌市、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県（山梨県）

(B) 札幌市、岩手県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、千葉市（さいたま市、山梨県）

(C) 岩手県、千葉県、横浜市、新潟市、石川県、静岡県、静岡市（長野県、新潟県）

(D) 岩手県、岐阜県、愛知県、京都府、京都市、大阪市、兵庫県（三重県、神戸市）

(E) 岩手県、横浜市、滋賀県、和歌山県、兵庫県、愛媛県、大分県（三重県）

(F) 兵庫県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、熊本県、大分県（鳥取県、島根県）

(G) 兵庫県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県（岡山県）

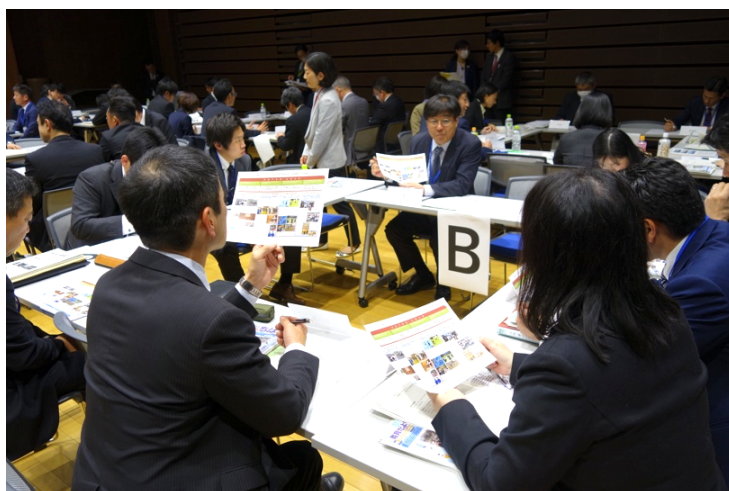
16:45 各グループで議論された内容の報告

17:15 閉会挨拶

筑波大学体育系教授 真田 久

全国ワークショップでは、各大学から今年度の各地域拠点における特徴的な実践事例の紹介、関係団体からは2020年に向けた事業紹介、教材に関する情報提供が行われた。

そして、参加した各地域拠点のコーディネーター等（計60名）を7グループに分け、討議を行った。グループ内で、各地域拠点における実践事例や成果、課題の共有を行い、次年度以降の取り組みに向けた検討を行った。代表者による発表では、2020年以降の継続可能な取り組みについての展望が示されるとともに、事業の事務手続きや教育委員会・地域との連携に関する共通の課題も提示された。



平成３０年度スポーツ庁委託事業
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 事業報告書

平成３１年３月

発 行：筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）

茨城県つくば市天王台１－１－１

筑波大学グローバルスポーツイノベーション棟２０４

Tel・Fax：０２９－８５３－８７４９

E-mail：coreadmin@core.taiiku.tsukuba.ac.jp
